

組織を活かす、空間マルチオミクスへ。

PhenoCycler-Fusion 徹底活用セミナー

Quanterix / Akoya Biosciences が提供する、**PhenoCycler-Fusion**は、**多重タンパク質解析装置にとどまらず、空間マルチオミクス研究を支えるプラットフォーム**です。

本ウェビナーでは、最大7色のホールスライド蛍光イメージャーとしての活用から、CODEXケミストリーによる高品質な空間プロテオーム解析、さらに同一組織切片を用いた空間トランスクリプトーム解析との連携まで、PhenoCycler-Fusionの活用法を幅広くご紹介します。また、取得した画像データをノーコードで解析できる**BioTuring SpatialX**を用いた**解析ワークフロー**もあわせてご紹介し、サンプル作製から画像取得、空間解析までの一連の流れを分かりやすく解説します。



2026年9月9日(水) 16:00~17:00



当日はZoomにて実施します。
ご登録はこちらからお願いいたします。

<http://bit.ly/3TqST8f>



蛍光スライドイメージングから、 空間プロテオーム × トランスクリプトーム統合ワークフローまで

太田 嘉一 バイオストリーム株式会社 アプリケーション担当



本ウェビナーでご紹介するポイント

- ✓ CODEXケミストリーが実現する、組織への負荷が少ない高品質な多重タンパク質解析
- ✓ 解析後の組織を活用した空間トランスクリプトーム解析との連携
- ✓ 最大100マーカー、最大7色対応のホールスライド蛍光イメージャーとしての活用
- ✓ 空間解析ソフトBioTuring Spatial Xによるノーコード空間解析ワークフロー



このような方におすすめ

- 既存の蛍光IHC/IF実験の効率化を検討されている方
- 多重タンパク質解析・空間マルチオミクスに興味のある方
- 空間プロテオームと空間トランスクリプトームを組み合わせた研究を検討されている方
- PhenoCycler-Fusionの活用方法や導入メリットを知りたい方
- 画像取得から空間解析までのワークフローを効率化したい方



PhenoCycler-Fusion



SpatialX

BioTuring's Solution for Spatial Discovery

**Unlocking the Spatial
Dimension of Biology**

